

多職種連携で生きづらさを支援する ～農福連携は地域づくりのひとつの手段～

令和8年3月13日(金)
医療法人おくら会芸西病院
地域生活支援室長
リハビリテーション部副部長
公文一也

自己紹介

作業療法士

R7年3月 高知県庁を退職

4月 芸西病院勤務

○地域生活支援室長

○リハビリテーション部

副部長

相談待たず、訪問支援

公文一也さん(安芸市) 県職員から病院に



「農福」仕掛け人 民間に転職

【高知新聞】高知市に暮らす公文一也さん(47)は、高知県庁で10年間勤務した後、民間企業に転職した。現在は、高知市にある「農福」の仕掛け人として、地域生活支援に力を注いでいる。

公文さんは、高知県庁で10年間勤務した。その間に、地域生活支援に関心を持ち、民間企業に転職した。現在は、高知市にある「農福」の仕掛け人として、地域生活支援に力を注いでいる。

公文さんは、高知市にある「農福」の仕掛け人として、地域生活支援に力を注いでいる。現在は、高知市にある「農福」の仕掛け人として、地域生活支援に力を注いでいる。

公文さんは、高知市にある「農福」の仕掛け人として、地域生活支援に力を注いでいる。現在は、高知市にある「農福」の仕掛け人として、地域生活支援に力を注いでいる。

一般的な農福連携とは

農福連携とは

農福連携は障害者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。





人と福祉がつながって、日本を元気に!
ノウフク
PROJECT



ひきこも
り

障害

自殺未遂
者

ヤング
ケア
ラー

生活困
窮

アウトリーチ推進事業

芸西病院アウトリーチチーム

つながる窓口 チーム『丘の上』

(医師、看護師、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士)

生きづらさ支援

人と福祉がつながって、日本を元気に!
ノウフク
PROJECT

依存症

虐待

ごみ
屋敷

思春期

高齢者

長期入院

受診中断



アウトリーチ推進事業とは



様々な生きづらさを抱えた生活困難者や精神障害者、受療中断者、長期入院後に退院した方々に対して、治療が必要であるにもかかわらず未治療の方や治療を中断している方などに対して、多職種チーム（精神科医、看護師、精神保健福祉士、作業療法士など）が必要に応じて訪問支援を行います。

保健・医療・福祉サービスを包括的に提供することで、入院治療を前提とせず、住み慣れた地域で継続した生活を送ることができるよう支援する取り組みです。

※芸西病院では、待つ支援ではなく積極的に支援に出向いて行きます。

活動範囲も決めておりません。

南国市にある5019が芸西病院の就労支援に協力



美味しいごはん



作業を切り分けて就労への協力



★お仕事メニュー

- お箸入れ ○スタンプ押し
- シールはり
- ハンバーガーの袋折り
- ハンバーガーの型押し
- ハンバーグ作り
- 接客
- 畑の草引き ○野菜を洗って千切る



高知新聞に掲載される

民祭で初販売
 昨秋、高知市で民祭が開催された。その際の賑やかな雰囲気の中で、高知農高生が「有機グアバ」の初販売を行った。販売は、高知農高生が中心となり、高知市で販売された。高知農高生は、高知市で販売された「有機グアバ」の初販売を行った。高知農高生は、高知市で販売された「有機グアバ」の初販売を行った。

飲食店で「商福連携」を
 接客体験する校生 南園 岡野 晴の50分シフト(ランチ)開始。高知農高生が、高知市で飲食店で接客体験を行った。高知農高生は、高知市で飲食店で接客体験を行った。高知農高生は、高知市で飲食店で接客体験を行った。

安芸高生 接客など体験 南園
 「客」接客など体験。高知農高生が、高知市で接客体験を行った。高知農高生は、高知市で接客体験を行った。高知農高生は、高知市で接客体験を行った。

高知農高生がグアバピール 就労支援事業所と開発
 甘酸っぱさが特徴の「有機グアバ果樹園の完熟ピール」。高知農高生が、高知市で「有機グアバ果樹園の完熟ピール」を開発した。高知農高生は、高知市で「有機グアバ果樹園の完熟ピール」を開発した。

「やまもも」の魅力を伝える
 高知小 高知市5年 啓蒙の通信販売の取組

最近の話題（首相官邸で）



農林水産大臣
衆議院議員 小泉進次郎

今後の農政における農福連携等の位置づけ

○ 改正食料・農業・農村基本法(令和6年6月5日公布・施行)でも農福連携の推進が新たに位置づけられるなど、農林水産省としても、引き続き、農福連携等の推進に力を入れることとしている。

○食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律(抄)

(障害者等の農業に関する活動の環境整備)

第46条 国は、**障害者その他の社会生活上支援を必要とする者**の就業機会の増大を通じ、地域の農業の振興を図るため、これらの者がその有する能力に応じて**農業に関する活動を行うことができる環境整備に必要な施策を講ずる**ものとする。

○「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」に基づく具体的な 施策の内容(令和5年12月27日食料安定供給・農林水産業基盤強化本部)(抄)

農福連携について、農業関係者が主体となった**地域協議会の拡大**の後押しと、**障害者だけでなく社会的に支援が必要な者(生活困窮者等)の社会参画**を促進する。

高知県安芸市

ナス農家 久市さん

発達障害を抱え、ひきこもっていたが
安芸市農福連携研究会の紹介により 農園で就労し
その後独立就農



こころの健康とは

- 毎日のある程度安定した気持ちで過ごせる
- 自分らしく考え、判断し、行動できる
- ストレスがあっても、うまく対処できる力がある
- 人と良い関係を築ける
- 生きがいや希望を感じられる



でも、現代社会(ストレス)は生きづらい

世の中便利になった

家電は発展

インターネットの普及

本当にいいのだろうか？

メールでのコミュニケーション

買い物はアマゾン

結果

人と関係を持たなくても生活が可能になった！

でも

本当この世の中これでいいのだろうか？



ストレスの要因

身体的要因

身体的な病気・
睡眠不足・疲労など

心理的要因

不安・恐怖・失望・
悲しみ・喜びなど

環境的要因

天候・光・冷暖房・
騒音・臭気など

社会的要因

家族の病気・家族の
死・受験・転勤・
昇進・結婚など



こころの不調のサインとは

こころの健康は「不安や落ち込みが一切ない状態」ではありません。誰でも落ち込むことはありますし、悩みやストレスは生きていれば当然のことです。重要なのは、「回復力」や「対処力」があるかどうか、自分の状態に気づき、整えられるかどうかです

こころの不調のサイン

- ・ 以前楽しめていたことが楽しめなくなった
- ・ 眠れない、または寝すぎてしまう
- ・ 食欲がない、または過食気味になる
- ・ 人と話すのが億劫になる
- ・ 些細なことで涙が出る・怒りっぽくなる
- ・ 「自分なんて」と強く思うようになる

本当に、現代社会はいきづらい



生きずらさってなんだろう？

みんな考えて！



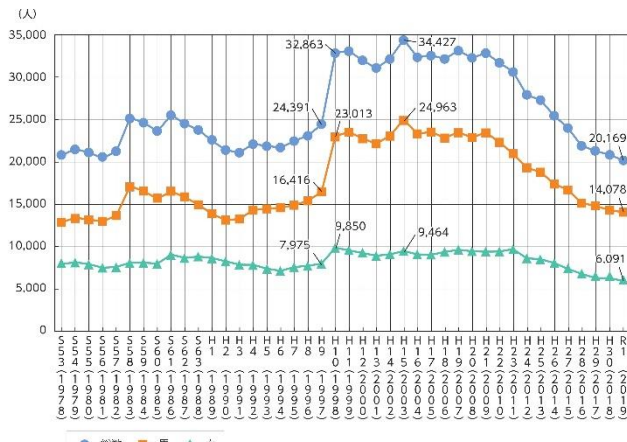
で、生きづらいと何がおこるか？

自殺

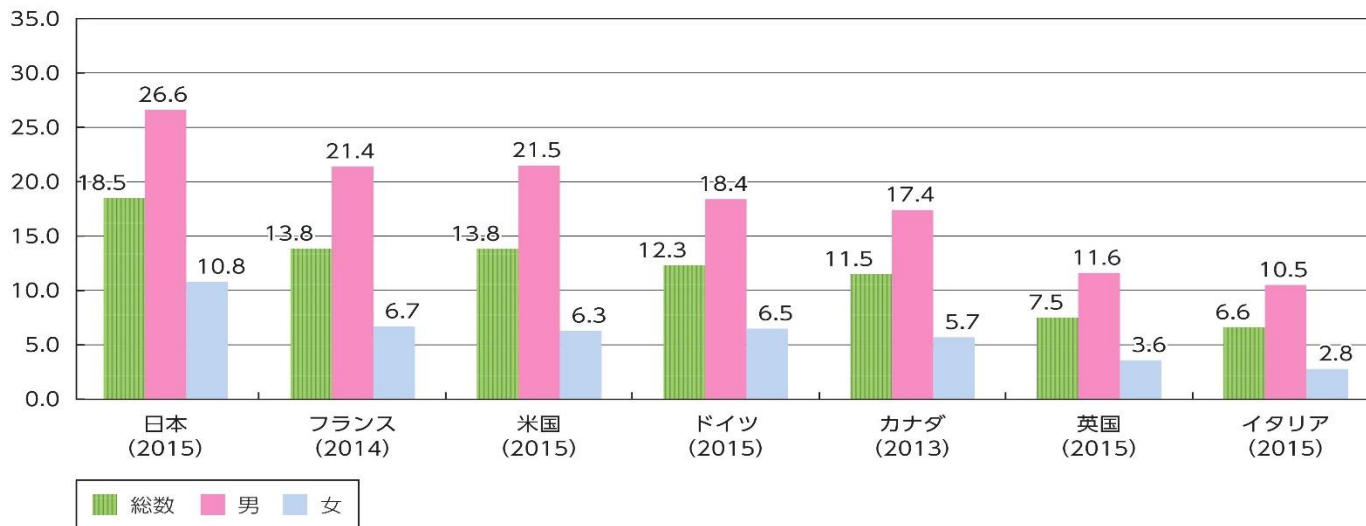


日本の自殺の現状

令和4年で約20,000人
これは、自殺が原因の死亡率は
先進国でも日本が断トツに高い!



厚生労働省「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成





最近の自殺の状況



1万9000人に減少

しかし、小中高生の自殺が532人と過去最高

高校生が352人

中学生が170人

小学生が10人

自殺の動機として、①いじめ等の学校問題

②高校生等のうつ病や精神疾患が増加



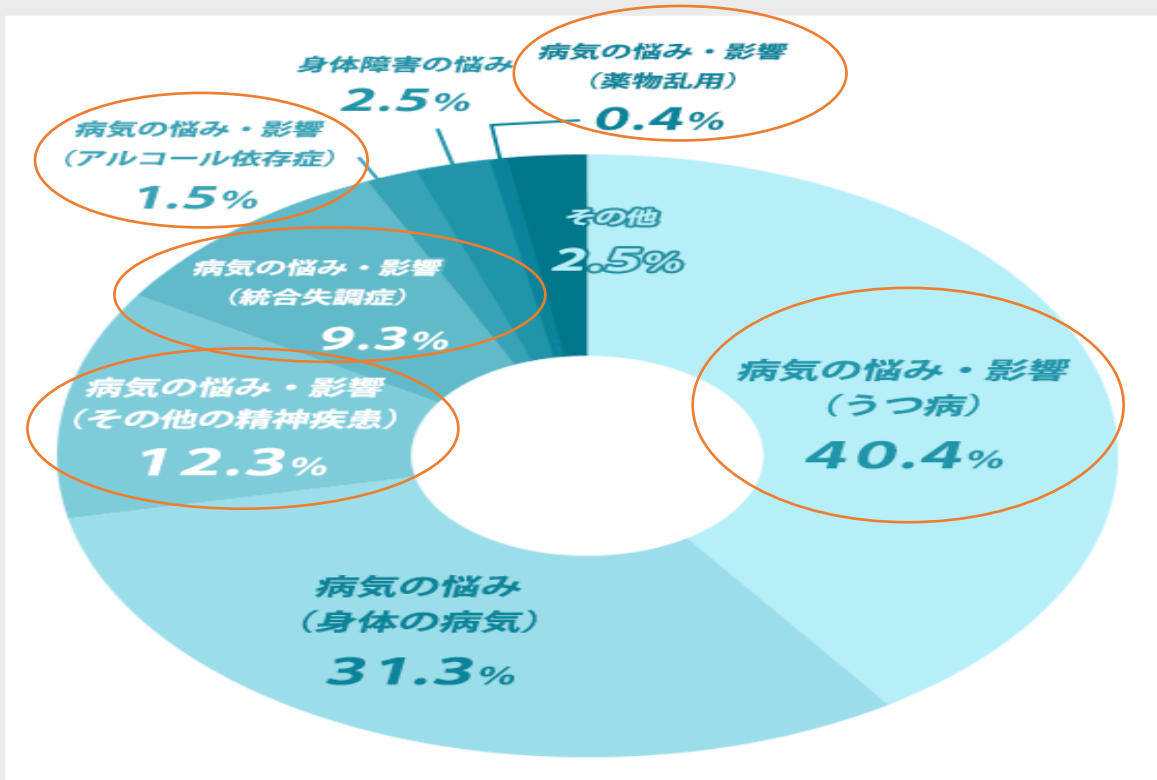
自殺の原因ランキング

- 全年齢合計 1位 **健康問題**
- 2位 経済・生活問題
- 3位 家庭問題
- 4位 勤務問題
- 5位 その他(男女問題、学校問題)

「1人の自殺は周辺の6人に対して強い影響を与える」ということが、WHOの文書に言及されていましたが、実際にはもっと大勢の方が影響を受けると考えています。

健康問題の内訳(精神疾患が多い)

2018年の自殺者の動機「健康問題」の内訳は…



自殺者の理由

「自殺の危機経路」事例

「→」 = 連鎖、「+」 = 併発

失業者

- 1 失業 → 生活苦 → 多重債務 → うつ状態 → 自殺
- 2 連帯保証債務 → 倒産 → 離婚の悩み + 将来生活への不安 → 自殺
- 3 犯罪被害（性的暴行など） → 精神疾患 → 失業 + 失恋 → 自殺

労働者

- 1 配置転換 → 過労 + 職場の人間関係 → うつ状態 → 自殺
- 2 昇進 → 過労 → 仕事の失敗 → 職場の人間関係 → 自殺
- 3 職場のいじめ → うつ病 → 自殺

自営者

- 1 事業不振 → 生活苦 → 多重債務 → うつ状態 → 自殺
- 2 介護疲れ → 事業不振 → 過労 → 身体疾患 + うつ状態 → 自殺
- 3 解雇 → 再就職失敗 → やむを得ず起業 → 事業不振 → 多重債務 → 生活苦 → 自殺

主婦など (就業経験の ない無職者)

- 1 子育ての悩み → 夫婦間の不和 → うつ状態 → 自殺
- 2 DV → うつ病 + 離婚の悩み → 生活苦 → 多重債務 → 自殺
- 3 身体疾患 + 家族の死 → 将来生活への不安 → 自殺

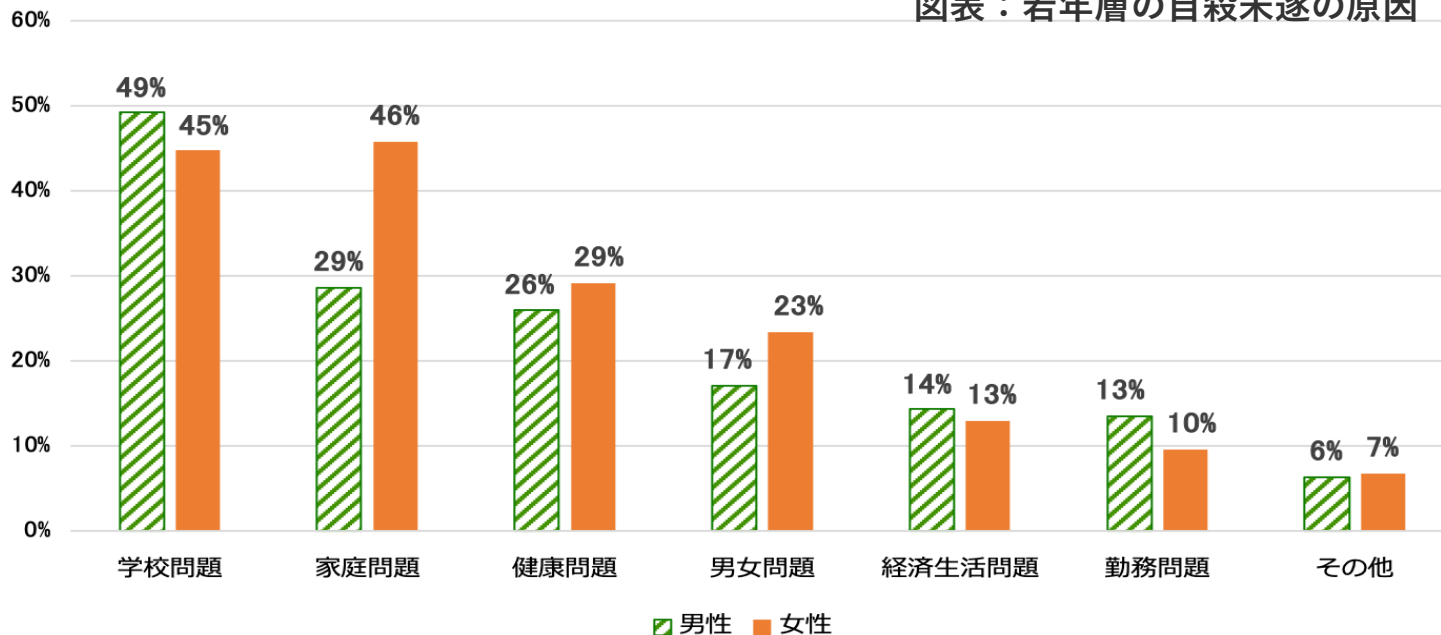
学生

- 1 いじめ → 自殺
- 2 親子間の不和 → ひきこもり → うつ状態 → 将来生活への不安 → 自殺

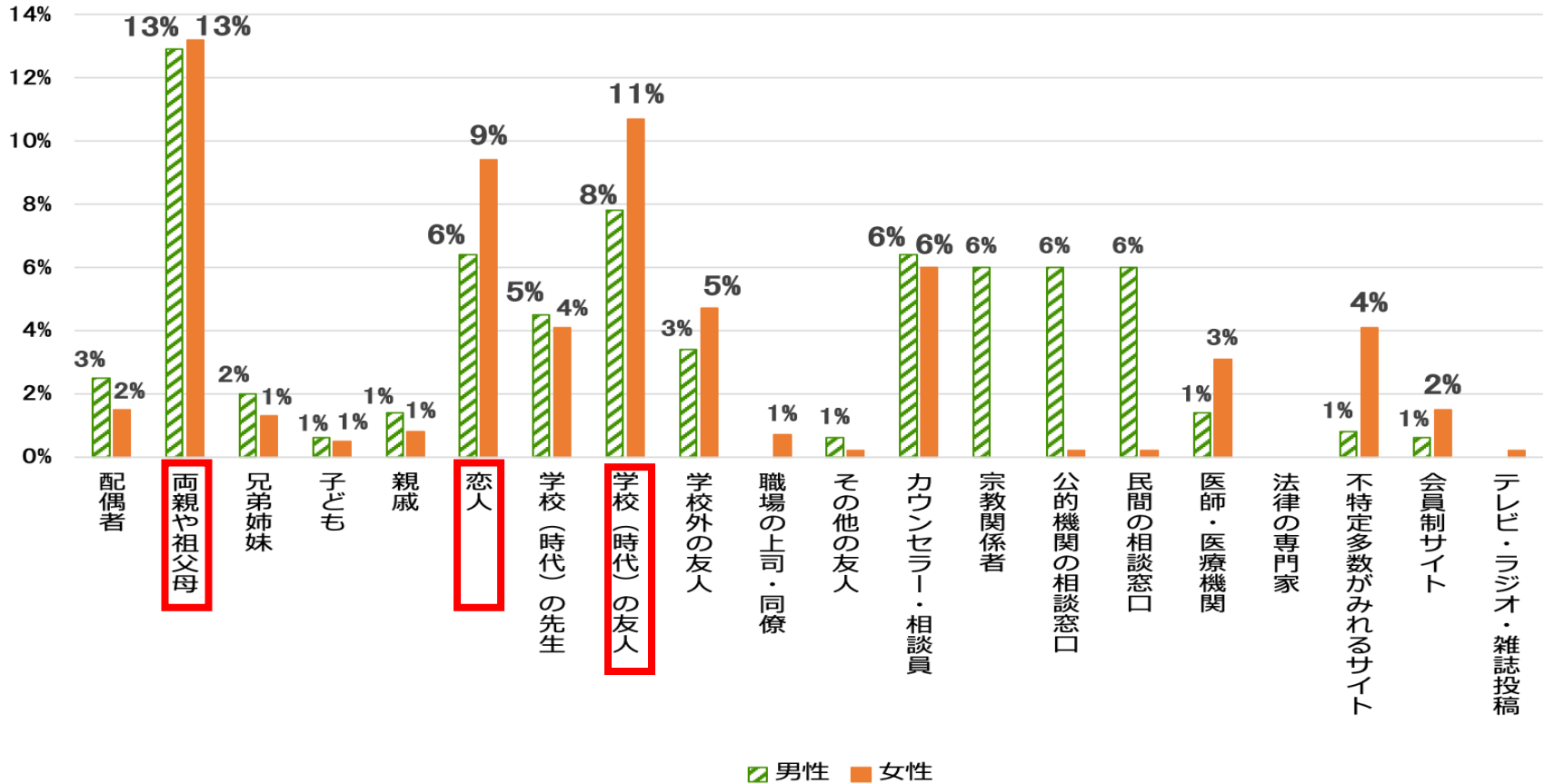
近年若者の自殺者が増えている

日本に暮らす18～22歳の若者のうち、**4人に1人**が自殺を本気で考えたことがあり、**10人に1人**が自殺未遂を経験したことがある。そして、その原因の半数が学校問題を占め、さらにその半数は「いじめ」が原因

図表：若年層の自殺未遂の原因



追いつめられた若者が 頼りたいのは身近で大切な人たち



自殺者の割合が凄い理由!

○交通事故死のなんと4倍 約5000人

○イラク戦争の死者が約4500人

○毎月約1600人が自殺している

○毎日約60人が自殺している

毎日どこかの都道府県で誰かが亡くなっている
あなたの周りでひよっとしたら身近な人が
自殺で亡くなっているかも



こんな日本でいいのだろうか？

自殺者より多い自殺未遂者

2016年に日本財団が実施した「自殺意識調査」によれば、過去1年以内に自殺未遂を経験した人は53万5000人(推計値)に上り、**実際の自殺者数の20倍**近くに達していたことがわかっていいる。年齢別には**20代が最も多かった**が、ショッキングだったのは、全世代平均で「**4人に1人が「本気で自殺したい」と考えたことがある**」と回答していたことである。米国の調査の2倍以上の数値である。

自殺未遂者には何らかの精神疾患がある

では、自殺未遂者の中の何パーセントに精神疾患があるか？
みんなで考えよう！

98 %

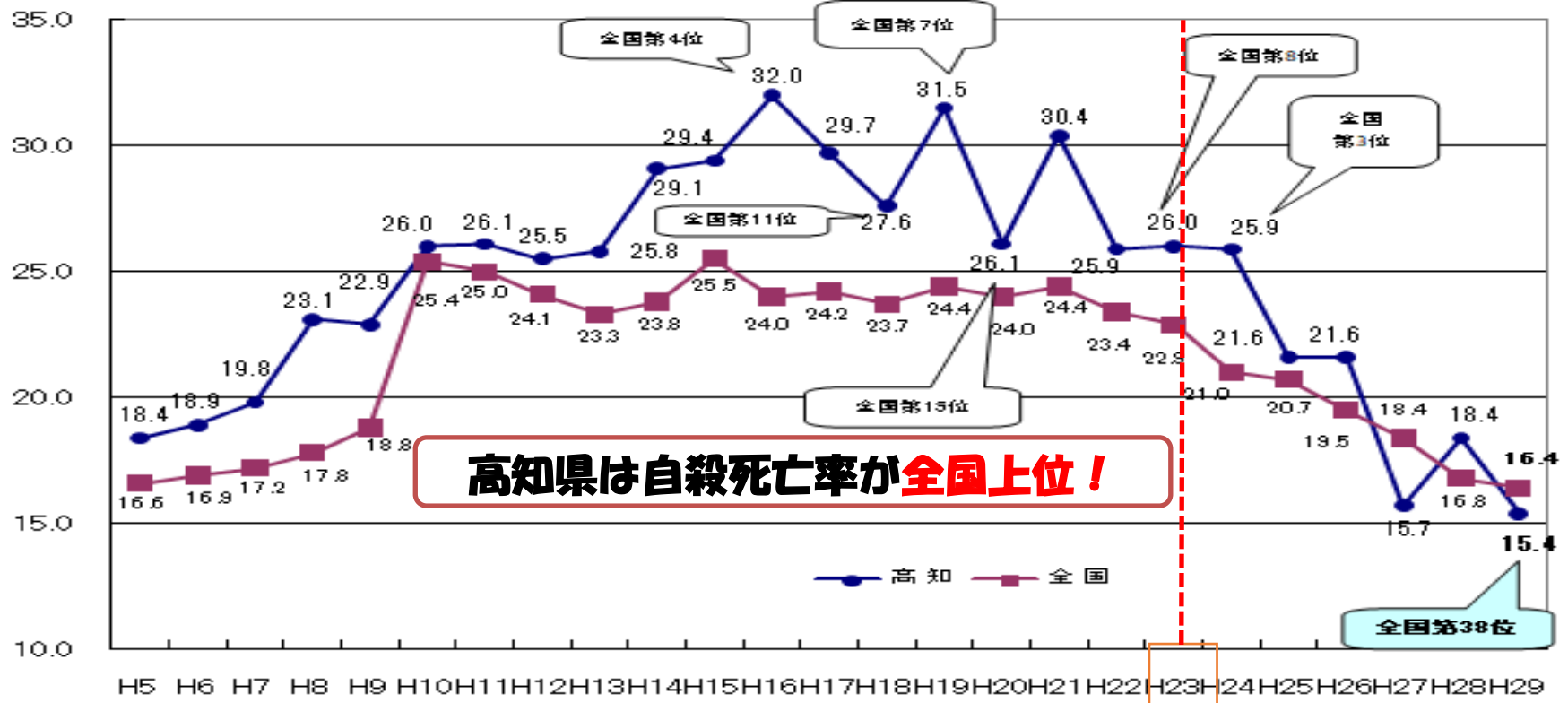
札幌医科大学 川西千秋先生

高知県はどうなのか

自殺死亡率は全国でもベスト10入り！



自殺死亡率の推移（人口10万人あたり） 課題は自殺者を減らすこと！



高知県は自殺死亡率が全国上位！

H23年 安芸地域の自殺率は県内で最も高い！

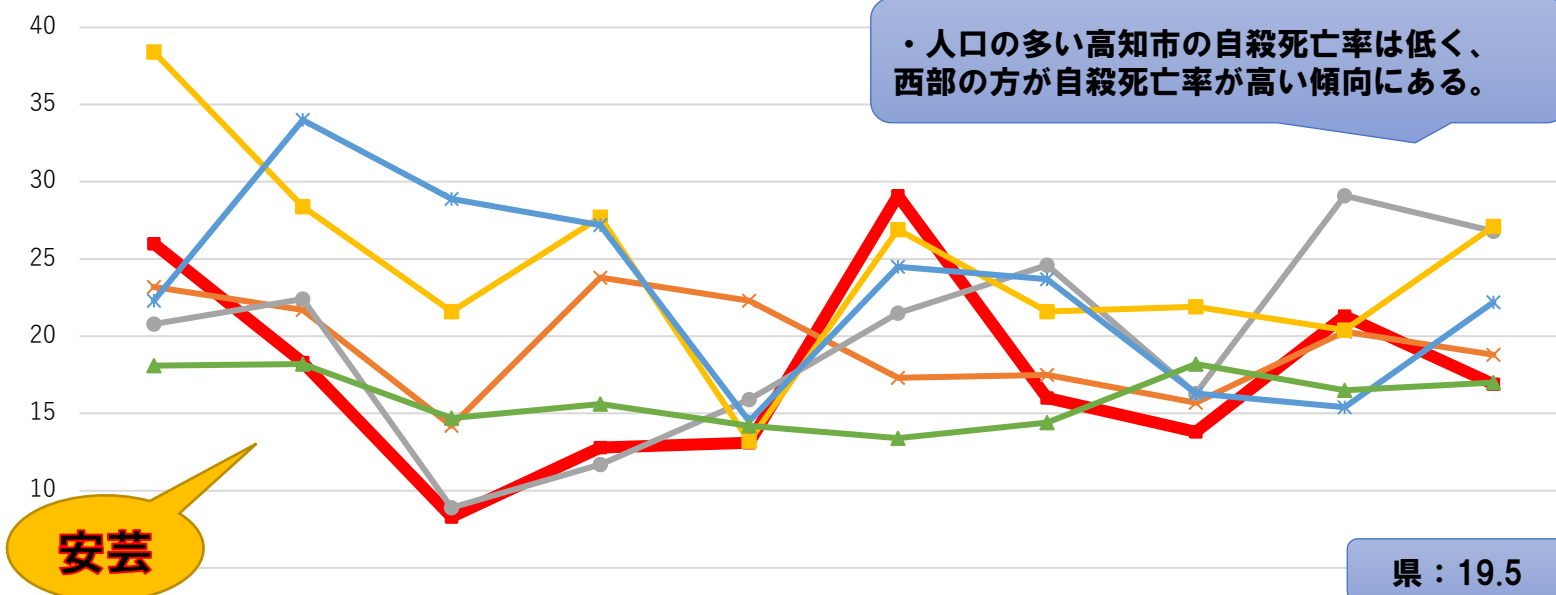
保健所管内の自殺死亡率の推移

国と福祉がつながって、日本を元気に!



※県の健康づくり支援システムより算出

・人口の多い高知市の自殺死亡率は低く、西部の方が自殺死亡率が高い傾向にある。



安芸

県：19.5

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
安芸福祉保健所	26	18.3	8.3	12.8	13.1	29.1	16	13.8	21.3	16.9
中央東福祉保健所	23.2	21.7	14.2	23.8	22.3	17.3	17.5	15.7	20.3	18.8
中央西福祉保健所	20.8	22.4	8.9	11.7	15.9	21.5	24.6	16.3	29.1	26.8
須崎福祉保健所	38.4	28.4	21.6	27.7	13.2	26.9	21.6	21.9	20.4	27.1
幡多福祉保健所	22.3	34	28.9	27.2	14.5	24.5	23.7	16.3	15.4	22.2
高知市保健所	18.1	18.2	14.7	15.6	14.2	13.4	14.4	18.2	16.5	17



令和6年度 死亡率が全国第 5 位

令和6年度で126人が自殺 男性97人 女性29人



10歳代～30歳代の死因の第1位は自殺となっています。

若い世代ほど「相談しても解決につながらない」と感じやすく、解決の糸口が掴めず、思い悩んだ結果の先に自殺に至ってしまう危険性があります。

昨年度は、40歳代～70歳代以上が自殺者が多かった。身体の病気や経済生活問題により孤立や不安となって自殺に至っている。

先の見えない不安に駆られ死にたいと思う時は「話したいと思える誰かがいること」と「だいじょうぶ？何かあった？」と声をかけてくれる人がいることが大切です！

こころの健康を保つには①



1. 「今の自分」を知る時間をもつ

忙しい毎日では、つい自分のこころの声を無視してしまいがちです。1日 5分でもよいので、静かに自分の気持ちを見つめる時間を持ちましょう。ノートに書き出す「ジャーナリング」もおすすりめです。

2. よく眠り、よく食べる

こころと体はつながっています。睡眠不足や不規則な食生活は、こころのバランスも崩します。まずは睡眠と食事のリズムを整えることが、こころの健康への第一歩です。

こころの健康を保つには②



3. 「ひとりで抱えない」を選ぶ

困ったときは助けを求めてもいいのです。「こんなこと相談していいのかな」と思うことほど、実は話してみるとこころが軽くなります。信頼できる人、あるいはカウンセラーなどの専門家に話してみることも大切です。

4. 小さな「好き」や「楽しい」を大切にす

こころが疲れているときほど、「やりたいことがわからない」と感じるものです。そんなときは、過去に自分が少しでも楽しいと感じたことを思い出し、できる範囲でやってみてください。花を見る、音楽を聴く、ゆっくりお風呂に入る――どんな小さなことでも構いません。

こころの健康を保つには③



5. 「できたこと」に目を向ける

私たちは「できなかったこと」に注目しがちですが、意識的に「今日できたこと」を思い出すことも大切です。

「朝起きられた」

「ちゃんと食事をした」

それだけでも、こころの健康の土台を支えてくれる要素になります。

疲れたら休む、困ったら頼る、自分を大切にする——その繰り返しで、心の回復力を育てていきます。

こころの健康は「人とのつながり」の中で育つ

こころの健康は、決して“ひとりでなんとかするもの”ではありません。人とのあたたかな関係性、支え合える関係の中で育まれていくものです。

自殺のサインを見逃さない(気付き)

○感情

- ・泣く
- ・怒る
- ・投げやり
- ・無表情
- ・無気力
- ・無関心
- ・無口

○身体面

- ・不眠
- ・食欲低下
- ・胃痛や頭痛
- ・身体の痛み(高齢者)
- ・急に痩せる

○行動

- ・自傷行為
- ・過食、拒食、飲酒
- ・自殺の方法を探る
- ・遺書を書く

○発言

- ・疲れた
- ・死にたい
- ・どうでもいい
- ・生きていてもしかたない
- ・消えたい
- ・楽になりたい
- ・無になりたい



ゲートキーパーの役割

ゲートキーパーの役割



- ①気付き(普段の変化に気付く)
- ②声かけ(勇気を出して声をかける) **疲れてない?元気ないよね**
- ③本人の気持ちを尊重し耳を傾ける(傾聴) **相手の話を聴いて気持ちを受け止める**
- ④早めに相談窓口に行くことを勧める(つなぐ) **地域の相談機関につなぐ**
- ⑤温かく寄り添いながらじっくりと見守る

とにかく相談を聴いたら専門の窓口に繋いでください!

農と福祉がつながって、日本を元気に!

ノウ フク

PROJECT

自殺予防は支援の入り口 農福連携は支援の出口



農業

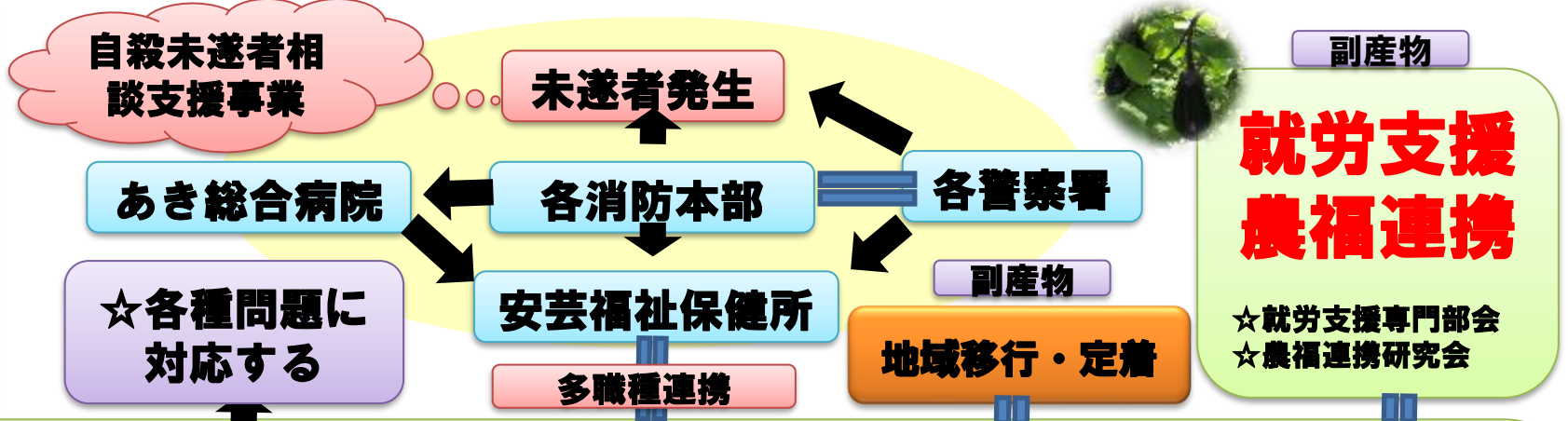
連携

福祉

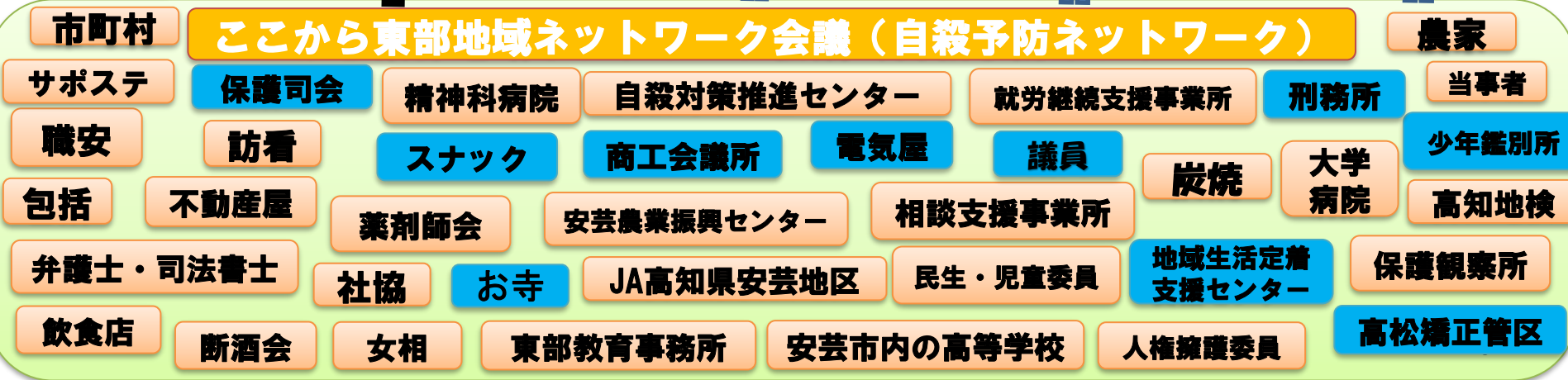


安芸地域のお仕事図（僕の仲間みんなの仲間）
農福連携は自殺予防の取組の副産物である！

連携命



ここから東部地域ネットワーク会議（自殺予防ネットワーク）



《参加機関相互の役割理解から本格的な自殺予防への取組み④》

＜ここから東部地域ネットワーク会議＞

開催年度	内 容（※各回事例検討・グループワークを開催）	参加機関
R5年度	<p>R5年度</p> <p>①・高知県の自殺の現状と取組みについて 高知県障害保健支援課 ・安芸福祉保健所自殺未遂者相談支援事業の取組みについて ・『県内のひきこもりの相談事例について』 高知県立精神保健福祉センター 武石氏 ・体験発表『不登校、ひきこもり、虐待を経験したわたしと居場所』</p> <p>②・それぞれの立場役割を理解する『高次脳機能障害について』 ・高次脳機能障害支援拠点センター青い空 津野氏 ・『お寺ができる自殺予防』 清水寺住職 真言宗智山派教区長 野島氏 ・講演『別海町から学ぶ自殺対策』 講師 札幌医科大学 主任教授 河西氏</p> <p>③・それぞれの立場役割を理解する『地域看護の可能性』 訪問看護Aiaru 小松氏 ・講演『SNSによってもたらされる社会的問題』 ～トラブルや犯罪に巻き込まれる子ども達の問題～ 講師 高知区検察庁 検事 徳田氏 副検事 筒井氏</p>	177名 (3回)
R6年度	<p>R6.7.25開催予定</p> <p>①・高知県の自殺の現状と取組みについて 高知県障害保健支援課 ・安芸福祉保健所自殺未遂者相談支援事業の取組みについて ・『ひきこもり地域支援センターの取り組みと県内のひきこもりの相談事例について』 高知県立精神保健福祉センター 泉氏 ・体験発表『思春期、不登校、ひきこもり、依存症の当事者と家族への対応について』</p>	

ネットワーク会議の特徴

- 各機関の仕事の紹介
- 必ずグループワークを行い、各機関の顔と仕事を
知る（顔の見える関係作り）



結果～仕事で連携できるようになる～

農と福祉がつながって、日本を元気に!



PROJECT

**そんなことをしながら..
やってたことが農福連携だった**

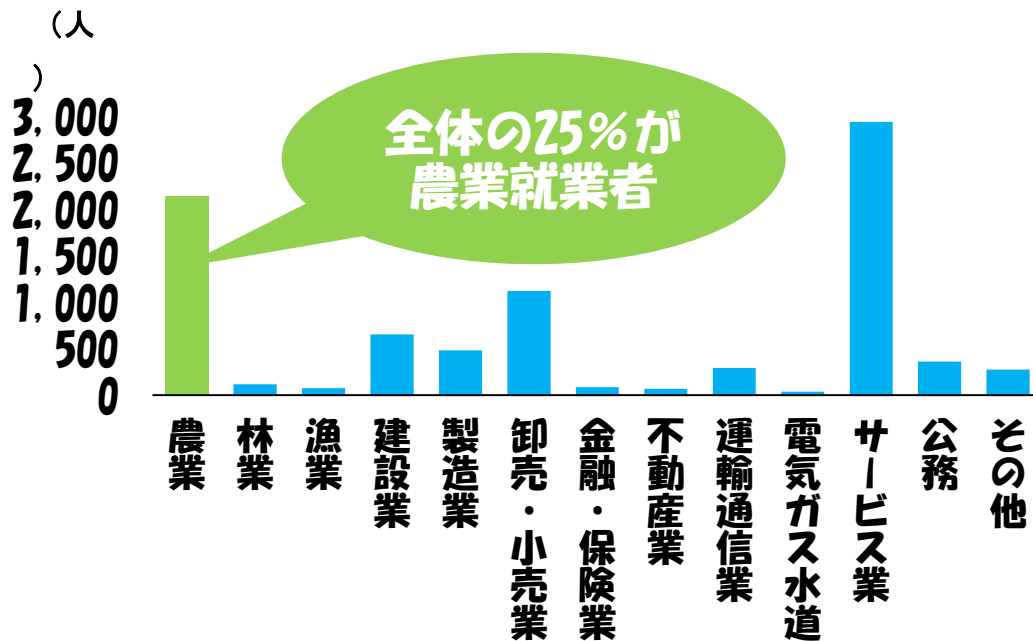
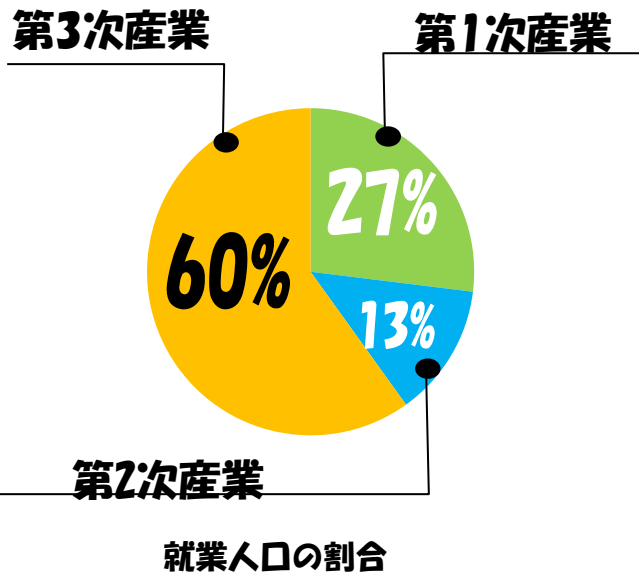
安芸市の農業



安芸市の産業

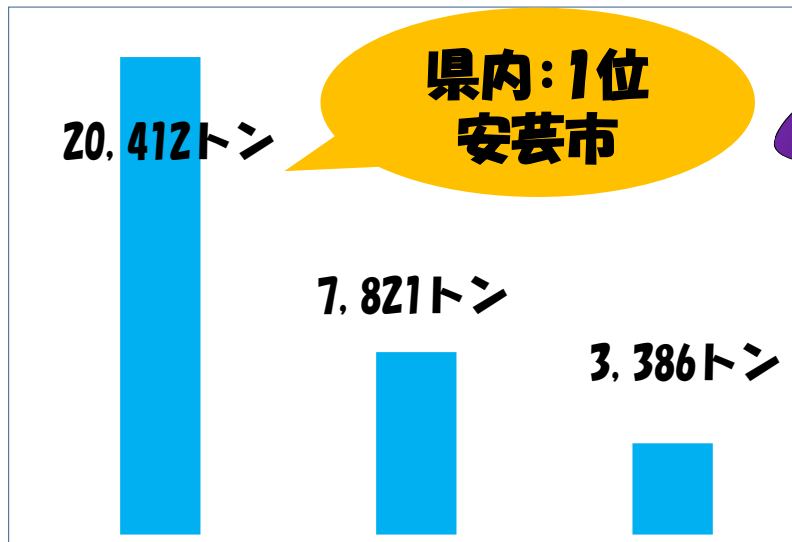


業種別割合



※平成27年国勢調査より

冬春ナスの収穫量(令和2年産)



県内: 1位
安芸市

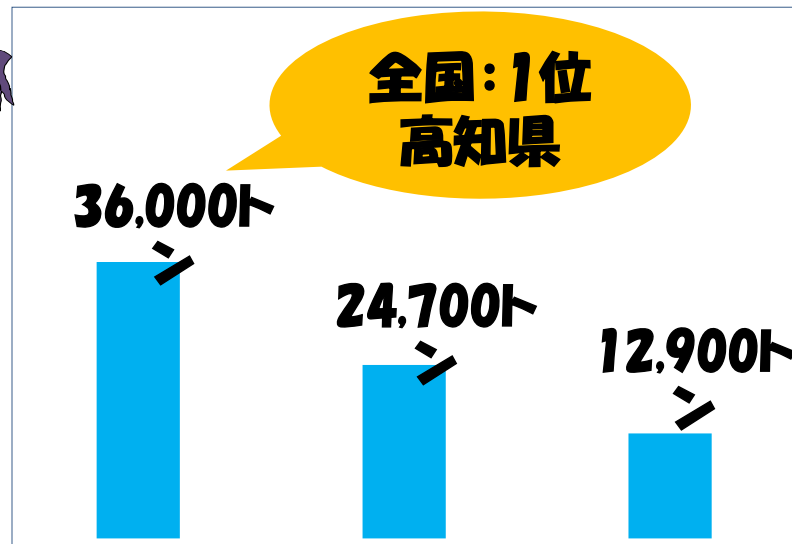


安芸市

芸西村

安田町

※高知県上位3市町村のみ掲載
(高知県農業振興部調べ)



全国: 1位
高知県

高知県

熊本県

福岡県

※全国上位3県のみ掲載
農林水産省統計情報より

事例①H26年5月 安芸地域の農福連携が始まる

30代男性 10年ひきこもり 生活困窮



生活困窮の彼との出会い
所持金0円

道に生えているカラスのエンドウ
を食べて飢えをしのいでいた。
安芸市の保健師、社協の職員と農
園へつないだ

これが農福連携の始まりだった！



N君が農家で**成功**した理由

- **作業**がN君の**特性**に合った
- 支援者も**一緒に作業**をした
- 雇用主がN君の**特性**を必死で**理解**した
- 雇用主との**連絡体制**の確立
- **なんと**いっても**賃金**が貰えた



ついに高知新聞にも掲載される



**袋詰めの方
統合失調症**



**集出荷場
労働時間の短縮**



**ハウスの
スパークス
20年ひきこもり**



**地域移行・定着
長期入院解消**



**ハウスの
規模拡大
3年ひきこもり**



**楽しい宴会
みんなで交流**



雇用主も幸せ



平成29年就労者増加 協力農家11戸 就労者16人※組織間連携する必要となる！



H29年～組織を超えた農福連携



農福連携検討会を開催

(メンバー)

- 安芸市農林課・福祉事務所
- JA高知県安芸地区
- 安芸農業振興センター
- 安芸福祉保健所

(検討内容)

- 情報共有
- 課題についての検討



就労先の確保や定着支援には、官民の組織を超えた連携が必要であり、それこそが真の農福連携であると気が付いた！

相談者

どこかの支援機関に相談する

安芸福祉保健所

安芸社会福祉協議会

・あき総合病院
・芸西病院

障害者就業・生活
支援センター
ポラリス

ハローワーク
安芸

・安芸市福祉事務所
・安芸市農林課

なんこく若者
サポートステーション

就労支援専門部会

支援機関
の連携

農福連携

※障害の勉強・理解
農福連携高知県サミットinあき

【安芸市農福連携研究会】
・安芸市・ポラリス・サポステ・
こうち絆ファーム・土佐あき園芸
研究会・JA高知県安芸地区・農業
振興センター・安芸福祉保健所

経歴書（安芸市版）

JA高知県安芸地区
アグリサポート

農家を紹介

農業就労サポーター

経歴書（安芸市版）

ナス等農家就労

評価

直接就労

経歴書（安芸市版）

ナス等農家就労

施設外就労

通常支援継続

B型・A型
移行

農業以外の仕事

経歴書（安芸市版）

制度利用 ・ 就労体験

H30 ついに農業（JA等）と福祉が手を組みます

農業サイド
農業分野での人手不足

福祉サイド
農業分野の就労先不足



困り事の解消に思惑が一致



平成30年5月安芸市農福連携研究会を設立



(設立目的)

- 安芸市がこれから将来にわたって農福連携を進めて行くために設立。
- 組織には人事異動が付きものであるが、人事異動があっても農福連携が進むように設立。

農福連携研究会とは？

★この研究会は農福連携を推進するために
地域に生きづらさの理解を拡げていくための会

★参加機関：JA高知県安芸地区（会長）、安芸市農林課（事務局）、安芸市福祉事務所、安芸市地域包括支援センター、障害者就業・生活支援センターポラリス、サポステ、山田特別支援学校田野分校、こうち絆ファーム、安芸農業振興センター、安芸福祉保健所（毎月1回開催）

【検討事項】

- 各機関の情報共有
- 就労へのマッチング
- 生きづらさや障害の理解の勉強会を開催
- 農福連携の普及・啓発事業の開催

【生きづらさ理解の研修会等の開催】

- ・H30年8月～はじめよう農福連携～講座
- ・R1年6月～農福連携高知県サミットinあき
- ・集荷場や各種農業の体験を実施（6名採用）
- ・R1年10月、JAが就労サポーターを雇用して障害者の就労定着強化を進める

R7年4月現在 協力農家34戸 就労者107名



就労定着支援の流れ

地域協議会（就労支援専門部会や農福連携研究会）の支援機関に相談が来る

↓必要な支援を整理する（住居、経済面、家族関係等）

地域協議会でマッチングケース会議を実施（月1回）

+連携先の関係機関は随時就労のマッチングを行う

↓お仕事体験10日間（就労体験拠点設置事業）を活用

+JAの農業就労サポーターを活用

支援機関とサポーターと一緒に定着支援を開始

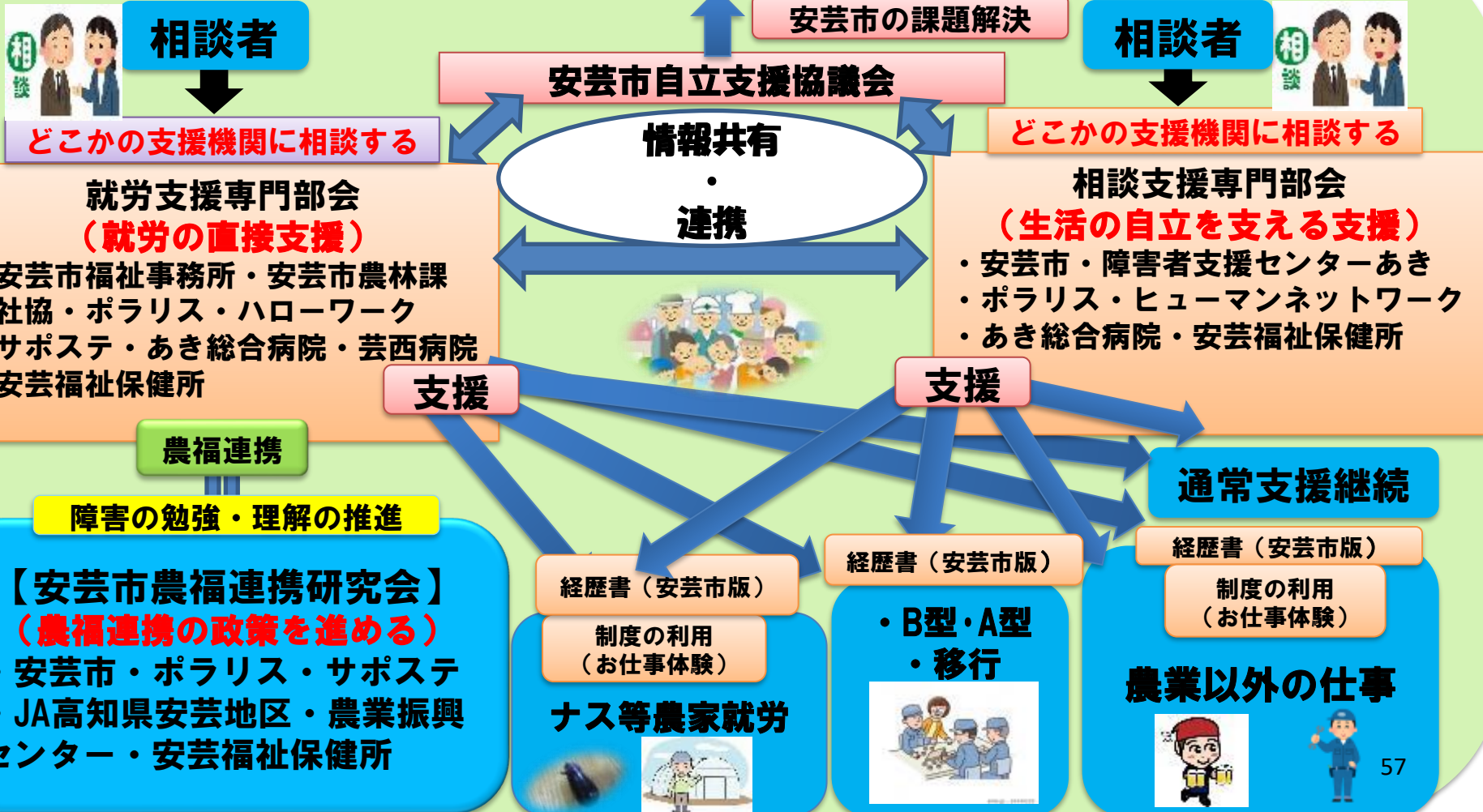
↓※サポーターは毎日同行支援（支援機関との情報共有は必ず行う）

就労定着

※定着後もサポーターと支援機関は農家を訪問して農家と当事者の
フォローを行う



わかりあいと助けあいのもと 誰もが自分らしく暮らせるまち あき



R7年4月現在

生きづらさ抱える方を支える農家や出荷場等

※働き方は違うがみんな定着している！

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| ①東岡農園 (4名) | ②北村農園 (3名) | ⑲久市農園 |
| ③小松農園 (2名) | ④岡林農園 (2名) | ⑳西岡農園 |
| ⑤仙頭ファーム (1名) | ⑥岡林トシ農園 | ㉑公文農園 (1) |
| ⑦小松良二農園 (2名) | ⑧シーベジタブル (3名) | ㉒仙頭農園 |
| ⑨山崎農園 (1名) | ⑩川内農園 (1名) | ㉓小原農園 |
| ⑪輝農園 (3名) | ⑫高知国沢農園 (1名) | ㉔小松弘幸 (ミヨウガ) |
| ⑬長野農園 (4名) | ⑬安田出荷場 (1名) | |
| ⑮住原農園 | ⑭安芸出荷場 (5名) | |
| ⑰山崎隆農園 (1名) | ⑯赤野出荷場 (2名) | |
| ⑱千光士農園 (2名) | ⑰芸西村出荷場 (1名) | |
| ㉑土佐備長炭一 (2名) | ㉒こうち絆ファーム (55名) | |
| ㉓JA高知県あき地区 (1名) | ㉔福田園芸 | |
| ㉕公文農園 (1名) | ㉕松村農園 | |
| ㉖曾我牧場 (3名) | ㉖穴内出荷場 (1名) | |

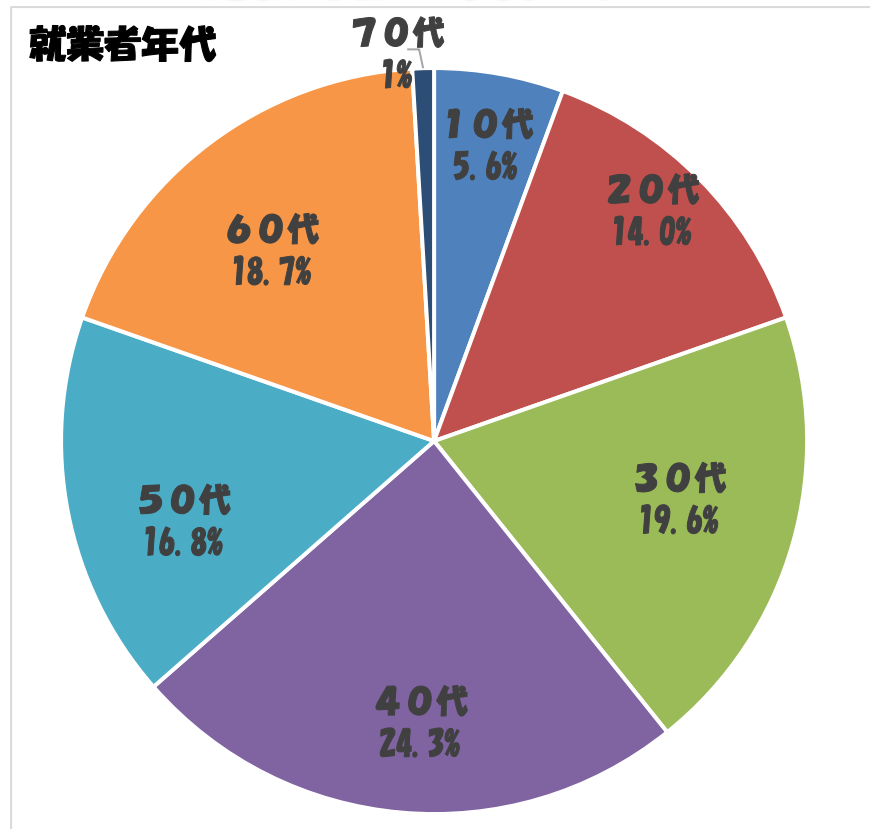


※受入可能農家+5=34箇所

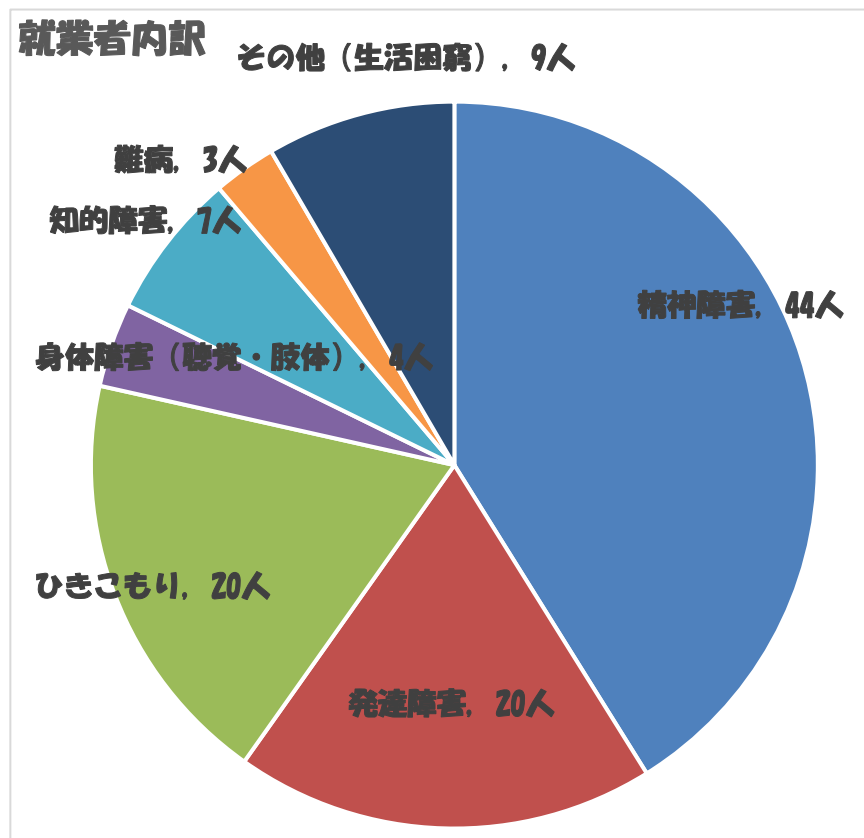
計107名

就労者の年代別・疾患別（107名内訳）

比較的若い年代が多い



様々な障害に対応している





**安芸地域の農福連携はさらに深化！
農+林+水+α連携へ**



R2. 4. 1 多機能型事業所TEAMあき開所



一般社団法人

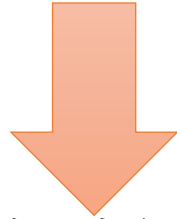
『こうち絆ファーム』TEAMあき

農福連携研究会

就労支援専門部会

色々な機関に協力して頂き
開所することができました。

**どうしてB型事業所を設立したのか？
R1年度～ある問題が発生する！**



最低賃金が貰えない人が多く出現

最賃を貰えない人は

働いてはいけないのか？



働きたい思いを大切にしたい！

こうち絆ファーム「TEAMあき」とは

(事業内容)

B型14名+移行6名

現在54名登録

(作業内容)

○**25件の農家からナスを集めて袋に詰める**

1箱200円、出来高制

○**農閑期はオクラの収穫と袋詰め**

○**R2.9からハウスの栽培開始**

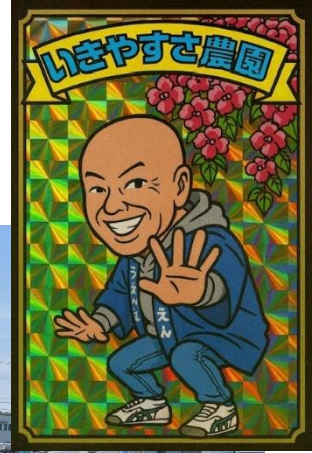


夢の実現

R3.6.28農閑期で仕事が減る**農業**
コロナで炭が売れない**林業**と連携
農福と林福が連携して薪を作る



R7年9月 合同会社いきやすさ農園(おくら栽培)開所
まずは漁師を救い、これからナスの栽培
さらにJAとタイアップしてナスの袋詰め開始
~いつ来ても、いつ帰ってもいい場所として~



おくらは一杯獲れました



異国からのお客さんとひきこもりさんが体験に

マヒドン大学生



酪農でも農福連携



生きづらさの理解はできてます。

酪農で働きたい方はなるべく受け入れますよ♪
一緒に仕事をしませんか？

農閑期のアルバイトも受け入れますよ(^^)



土佐備長炭一

最近は、農業以外の就労先が増えた

林福連携



社長
近藤寿幸



林業女子
ゆりっぺ



R4

両親からの虐待から逃れ
黒潮町から移住したゆりっぺ
チェーンソーの免許取りました

高齢者も農福連携で元気になる

グループホームうちはらの



人生の先輩達はナスの袋詰めが早い！

＼(〇o〇)／！

感想

- ・楽しい
- ・もっと詰めたい
- ・稼ぎたい
- ・仕事したらご飯が美味しい

これぞ
生きがい作り！

あったかふれあいセンター



R5. 7. 26 仏福連携（自殺予防）が始まる

◎地域の居場所として

- ・ 写経
- ・ 読経
- ・ 掃除
- ・ 自由に過ごす



地域の相談場所として



自殺予防

R5. 2. 1

ロータリークラブでの話題提供で
農福連携を説明。

清水寺の住職から声が…

仏福連携やりましょう！

自殺防止は寺院、住職、僧侶
にも出来る！

生きづらさに寄り添う！

まずは「ここからネット」に参加

令和7年度はゲートキーパー研修を開催！

農福商工連携開始



商店街活性化へ農福商工連携へ



高校生も入って話し合い



人気のキッチンカー



前日に収穫した大量のナス



507名が参加



農・林・商・福連携

安芸本町商店街

第1回 軽トラマルシェ

日時 令和4年6月26日(日) 11時~15時 (小雨決行)

場所 安芸本町商店街 多機能型事業所 TEAMあき駐車場
(スマホの地図で検索はコナラ 住所: 安芸市本町3丁目10-35)

軽トラ山積み
ナス詰め放題 (100円)
11時30分 13時30分

キッチンカーも来るよ!

- ・土州焼き
- ・KIRAR (クレープ、スイーツ)
- ・K FOOD KITCHEN (フルーツサンド、ローストビーフ弁当)
- ★ナスやおじゃこ、輪子を使った安芸スベシャルメニューも!




土佐備長炭でおいしさ実感!
 野菜BBQで一般的な炭と違ってくべが体験できます (土佐備長炭一)

ほかにも「安芸の美味しいもの」あります

- ナス餃子、ナスとじゃこのかき揚げ (JA女信部)
- しいたけ販売 (小松聡さん)
- ナス焼きそば、コーヒー (安芸本町商店街振興組合、カフェハマカワ)
- ずっぽんスープの試食販売 (ずっぽんラーメンの光福安芸店)

【お問合せ】
 安芸本町商店街振興組合 事務局 087-34-3035

—主催：安芸本町商店街「軽トラマルシェ」実行委員会—

安芸市のリンダリンダ ナスの6次化 飲食店との連携/ウフクJASの茄子



☆三法（農）福連携☆三
（法務省と福祉の連携）

保護観察所との連携

弁護士との連携

検事との連携

刑務所との連携



ケースの共通点

コミュニ
ケーション
が苦手

無職

相談相手
がない

家族が
困っている

衝動性が
強い

生きづらさ満載



触法者支援の勉強会の開催



検事が講師
就労支援専門部会と
農福連携研究会との
合同勉強会
刑事事件の流れを勉強
支援と理解の両輪が大事
と再認識！

地域支援の視点

再犯防止・地域定着支援



○触法者も「生きづらさ」を抱えている人達であり相談者が居ない。
理解し寄り添うことでこころを開き、社会的役割を持つことで社会復帰していく

○組織を超えた連携（1機関で問題を抱えない・チーム型）
官民組織が、地域で連携して役割分担することで、安心して支援できる

安心して住みやすい地域をつくる
（OT的農福連携は地域づくり）
（地域が居場所）



これからの課題と方向性



○課題

農業以外の職種との連携(産福連携)

地域全体への生きづらさ理解の促進

○方向性

生きづらさ理解の勉強会の開催

ちいさなことからコツコツ始める





農福連携の効果と魅力 農業と福祉の視点から



農業からみた農福連携の効果

農福連携取り組み前



時給を上げて人も来ない。。。

●課題

- ・ 県東部はそもそも若者が少ないから雇用できないとの諦め
- ・ 安芸市など施設なすの産地では、夏場に一旦雇用が切れるケースが多く、周年雇用が難しい。
- ・ 小規模な家族経営が多く、雇用することに慣れていないため、雇用者への対応がわからない。

農福連携が進むと



●感じる効果

- ・ 地元の生きづらさを抱えた人や障がい者等の若い人を雇用できる。
- ・ 夏場の閑散期でも作業が作れるように新たな作物に挑戦してみる等の事例が多くなってきた。
- ・ 誰がきても作業がわかりやすく始められるように、作業の細分化とマニュアル作成等が進んでいる。

農業から見た農福連携の効果

生きづらさを抱える人、農家、関係者 みんなにとって大きな一歩

- 生きづらさを抱える人は・・・
 - 社会生活に参加することができるようになった
 - 仕事ができ稼げるようになった
 - 家から出ることができるようになった
- 農家は・・・
 - 人手が確保できた、作業の効率化ができた
- 農業関係者は・・・
 - 働く場を紹介できる、自立に向けた有効な手段の確保

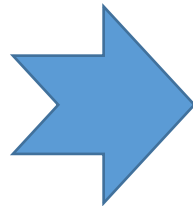


農福連携から いろいろな可能性がみえてきました



農福連携もだいぶ軌道に乗ってきた!!

ほかの業種でもできるんじゃないか?



水産業 × 福祉
= 水福連携



林業 × 福祉
= 林福連携

○福連携でさらなる連携拡大を目指しています。

農福連携に取り組んでいる農家の声 ～多くの農家が語っていたこと～

●生きづらさを抱える人が農業を通じて成長し、変わっていくことを見ることがうれしい。

農業 連携 福祉



- あいさつができるようになった
- 毎日遅れず出勤するようになった
- おしゃべりするようになった

など

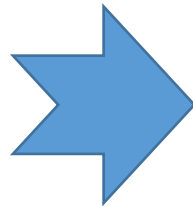
当たり前のことでも、当事者にとっては大きな大きな成長

農福連携から いろいろな可能性がみえてきました



農福連携もだいぶ軌道に乗ってきた!!

ほかの業種でもできるんじゃないか?



水産業 × 福祉
= 水福連携



林業 × 福祉
= 林福連携

○福連携でさらなる連携拡大を目指しています。

福祉からみた農福連携の効果①

- 地道にやってきた障害や生きづらさを抱えた人を理解する勉強会や、彼らのことを現場で雇用主へ説明することで、農家が生きづらさを理解してくれるようになった。
→各支援機関と農家等が同じ目線で目標に向かっている！
- 農家と当事者のマッチング！（JAパワー 農業就労サポーター）
- 雇用主と緊急連絡体制をしっかりと作る！
- 全く知らない農家と農家の出会いや、同じころざしを持った、雇用主同士が知り合いになることで交流している。（うちで雇ってる人は〇〇なんだよね）
- 働くことで社会的役割を持てた！
- 農業は「生きづらさを抱えた人たち」の居場所である！

福祉からみた農福連携の効果②

○農業は、「生きづらさ」を抱えている人達の**特性にマッチし**、気づ

いた時に**労働力**となり、副産物的に**人手不足の解消**にもなった。

○**組織を超えた連携**

(農福連携研究会や就労支援専門部会等の設立)

官民組織が連携することで、組織が安心して「生きづらさを抱えた人達を」就労につなぎ、一緒に作業をしている。

専門機関が、雇用場所に足を運ぶ!





福祉からみた農福連携の最大の魅力

① 自殺予防が支援の入口となり、農福連携が支援の出口となった

（当事者・支援者が元気になった）



② 農福連は人と人をつなぐ架け橋となった

③ 農福連携が地域づくりの手段となった



最後に地域づくりとは

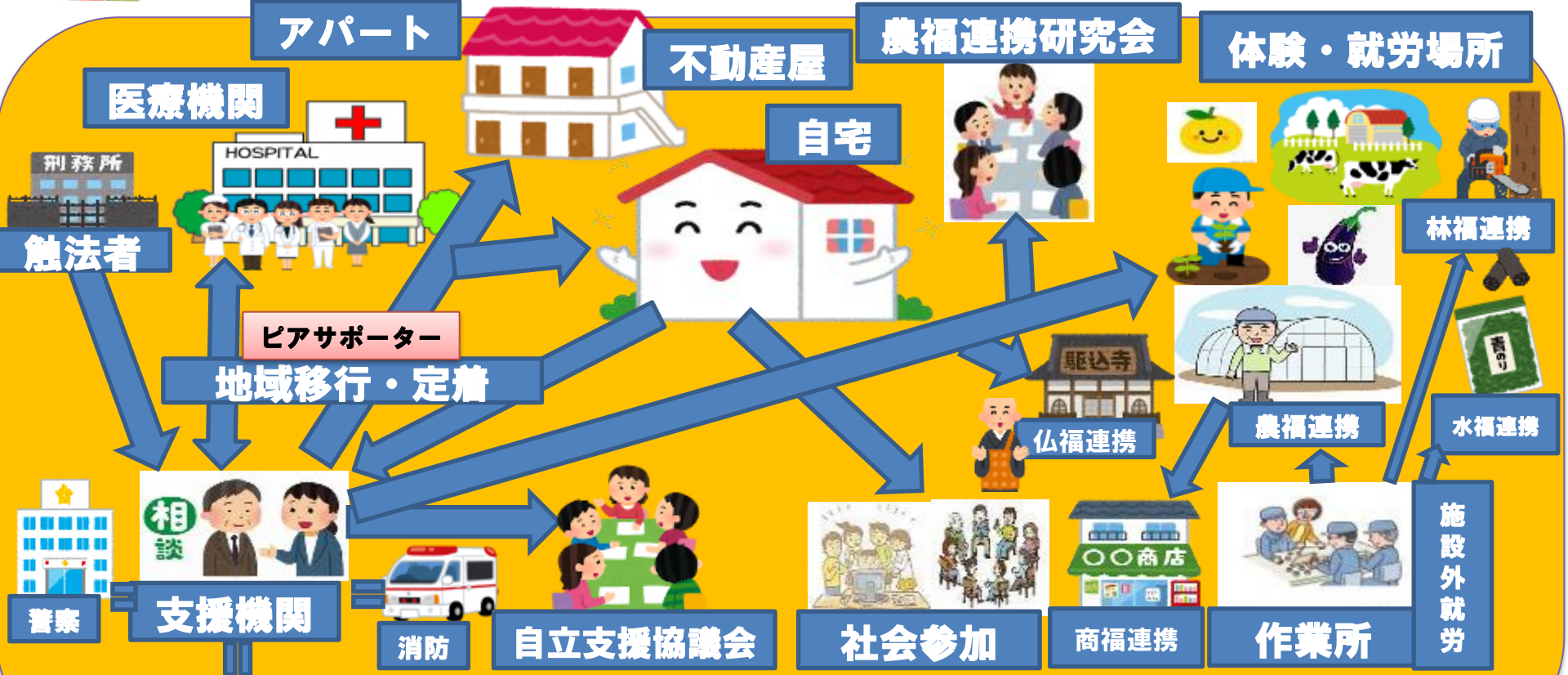
終わりのない

連携した伴走型支援



安芸版農・林・水・商・法・仏・福連携ケアシステム

誰もが安心して自分らしく暮らせるまち=地域づくり



ここから東部地域ネットワーク会議（自殺予防ネットワーク）・自殺未遂者相談支援事業